

## 糖尿病腎症重症化予防セミナー

平成 30 年 3 月 31 日 10:00～14:20

徳島大学病院 日垂ホール White

参加者 73 名 (CDEJ 18 名、LCDE 16 名)

内訳(医師 14、看護師 18、栄養士 18、保健師 13、薬剤師 5、保険者 3、理学療法士 1、その他 1)

徳島県糖尿病協会(ノボノルディスクファーマ(株)、協和発酵キリン(株)共催)による、糖尿病腎症重症化予防セミナーが開催された。「糖尿病腎症重症化予防対策を加速させるために」をテーマに、対策の基盤ができつつある徳島県で、誰に  
対し何を行うかを明確化し、地域展開を進めるステップについて熱い議論が交わされた。

### 基調講演

平井愛山先生(日本慢性疾患重症化予防学会理事長)から、糖尿病腎症重症化予防対策は疾病管理 MAP によるハイ  
リスク者トリアージに基づき、治療阻害因子を除去し、重症化予防治療を推進することであると明確な提示があった。香  
取市、愛媛県、沖縄県医師会、富士吉田市の先駆的取り組みを紹介いただき、急速進行性腎症患者に対する、減塩を  
主軸とした阻害要因除去と GLP-1 受容体作動薬や SGLT-2 阻害薬を用いた腎保護治療を地域展開する意義は、多く  
の聴講者に響くものであった。さらに、腎症重症化予防から介護予防に大きく舵を取る時期にきていることも皆野町の事  
例から紹介頂いた。

### パネルディスカッション

森康博先生(徳島大学糖尿病・臨床研究開発センター)、折口明子様(徳島県国保連合会)、白神敦久先生(徳島県立中  
央病院)、鶴尾美穂先生(徳島市医師会)の 4 名のパネリストから、徳島県での急速腎症悪化例の臨床的特徴から保険  
者、医療機関、そして医師会の対策事例に関して紹介があった。これまでの成果を今後の県単位での対策にどのように  
展開させるか密度の高い議論がなされた。

### ランチオンセミナー

酒井武則先生(市立八幡浜総合病院)から、八幡浜市での糖尿病腎症重症化予防対策の成功体験とその対策を南予  
地区へ展開する大きな努力、さらに愛媛大学第三内科の支援を受け短時間で愛媛県全域に展開できた経緯を、詳細に  
解説いただいた。これからの徳島県の腎症重症化予防対策がめざす未来の姿を見せていただけた講演であった。

### 症例検討会

松久宗英先生(徳島大学糖尿病・臨床研究開発センター)と白神敦久先生(徳島県立中央病院)から、腎症重症化予防  
のための気づきの多い症例と治療抵抗症例の紹介をいただいた。具体的な症例を通し、糖尿病治療のポイントと難治症  
例への対応について活発な意見が寄せられた。

